

令和6年度

帯広市立豊成小学校

研究まとめ

今年度の研究の ふりかえり

研究主題

「教わる」から「学ぶ」 授業への転換

～“できた!わかった!成長した!”を実感させる学びのデザイン～

サブテーマについて

学ぶことの楽しさ



～“できた!わかった!成長した!”を実感させる**学びのデザイン**～



- ①個別目標
- ②ゴールまでの道筋
- ③ふりかえり など

研究仮説①

課題に対して一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋をつくることで、見通しをもって学ぶ子どもを育てることができるだろう。

①個別目標を立てる

教師

単元で身に付けさせたい力、指導事項を確認。
教材研究。授業展開。

子ども 意欲UP! 目標意識

目標設定する力が身に付く。

→頑張りどころがわかる!

→なりたい!できるようになる!

「楽しそうに学習する姿が以前より見られるようになった。」「必要感をもって学習していた。」(教師アンケート)

低学年ブロック作成 個別目標シート

ひきざん

なまえ()

★1じかんめのめあて

めあてに ○とする	めあて(◎よくできた ○できた △もうすこし)	ふりかえり ◎○△
	じぶんで やりかたを かんがえる。	
	じぶんのやりかたを つたえる。	
	やりかたが わかって もんだいを とくことができる。	

★2じかんめのめあて

めあてに ○とする	めあて(◎よくできた ○できた △もうすこし)	ふりかえり ◎○△
	じぶんで やりかたを かんがえる。	
	じぶんのやりかたを つたえる。	
	やりかたが わかって もんだいを とくことができる。	

★3じかんめのめあて

めあてに ○とする	めあて(◎よくできた ○できた △もうすこし)	ふりかえり ◎○△
	じぶんで やりかたを かんがえる。	
	じぶんのやりかたを つたえる。	
	やりかたが わかって もんだいを とくことができる。	

自分の考えを説明することを
頑張ろうと思っている人は、
手をあげてください。



中学年ブロック作成 目標シート

チェック表のイメージ

※項目は、単元1時間目の児童の発言も踏まえ作成する。

シールの色 ●がんばって練習した ●前の自分より成長した ●ゲームの中でできた ●達人

	ねらったところにパスやシュートをする	ボールをとめる	ボールをけて進む	敵がいなくところに移動する	チームで作戦や練習を考える	友達に前向きな言葉をかける	協力して準備や片付けをする	安全に楽しく活動する	
ひろと									
そら									
しん									
かんだ									
はるき									
みく									

活動の中で自分でシールを貼る。レベルが上がったら重ねて貼ってよいこととする。
自分や友だちの成長を見つけ、表すものとして活用する。

体育科では、運動をしながら、オンタイムで個人目標への自己評価（振り返り）をしました。

社会科では、自分が知りたい、調べたいと思った学習課題の解決を個人目標として、学習したことをまとめていきました。

知りたい・調べたいこと

年に何回きゅうじょや火を消すくんれんしてるのか

(子どものロイロノート)

高学年ブロック作成 個別目標シート

あなたは、どう考える

【名前】

【個別目標】

- ・主張と根拠のある文章を書いて、見た人が納得する文章を書く。

【学習の流れ】

① 題材を決め、自分の（主張）と（根拠）を決める。

振り返り

月曜日に休んでしまったが、みんなの提出物を見て、主張と根拠を書いた。けれど、結構納得させられるような根拠をかけたと思った。

②（友達）と交流し、根拠を見直す。

振り返り

根拠を見直し、根拠を増やすことができた。

③（反対意見）を想定し、それに対する考えを書く。

振り返り

④（構成）を考えながら、文章に書く。

振り返り

黒板に書いている説得力が増すポイントを3つかけたので良かった。グラフを使ってわかりやすく説明できた。

○学習全体を振り返ろう。

■さんの文章を手伝ってホームページを探したり、文章を変えたりしてわかりやすくなっていった。■さん、■さん、■さん、

■さん、■さんの文章がいいと思いました。説得力のある文章がかけたと思いました。

特別支援ブロック作成 個別目標シート

11/18 第 18 組 ()

ポッチャきたのしもう。

め あ て

おうえんをきる。

ふりかえり ◎ ○ △

あかチームがいたげ

11/20 第 20 組 ()

ポッチャきたのしもう。

め あ て

おうえんを大きくおうえんおきる。

ふりかえり ◎ ○ △

すばらしいか、おうえんは
えんじやばんぼえんは

あか ● 赤チーム (A)

おうえんをがんばる。
チームがなげるとき、かみばれといえた。
なげるときにアドバイスをする。
おうえんできた、くさんのなげかたがよかった。
大きなこえでおうえんする。
大きなこえでできた。
じぶんのチームにアドバイスをね。
アドバイスができた(かみばれ) ○○ねらて。
アドバイスをがんばる。
(ねらうボールなど)
かみばれ、といえた。
ルールがわかった。

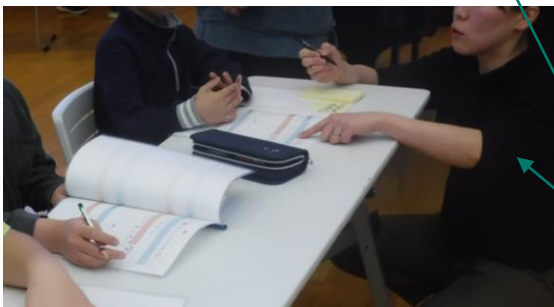
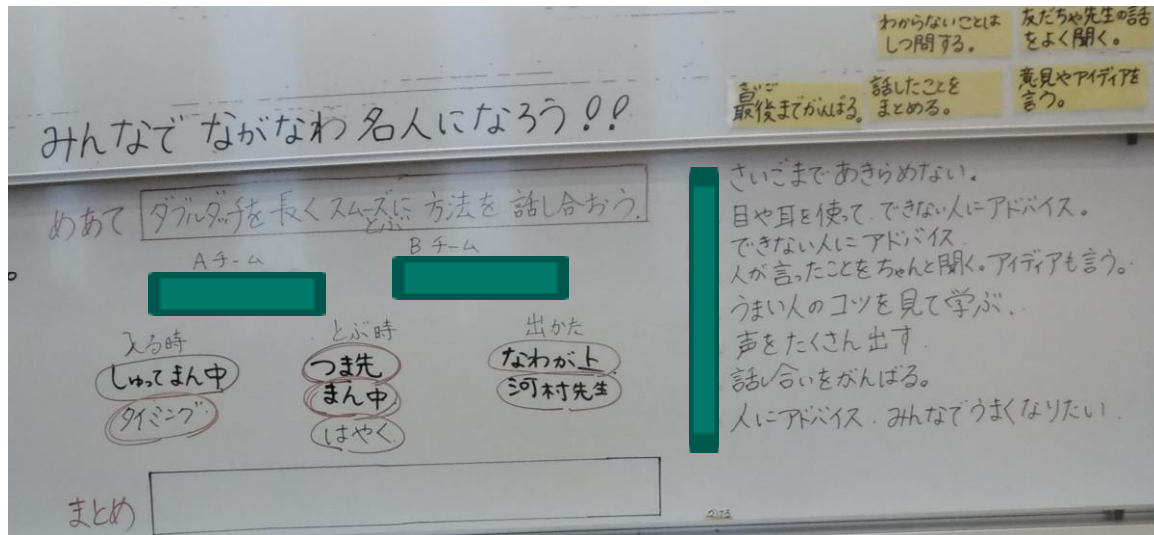
あお ● 青チーム (B)

どんまい、とはげます。
ともだちがなげたあとにどんまいといえた。
なげている人をおうえんする。
おうえんできた。
じぶんのチームがなげるときに
おうえんをする。
どこになげるかをいえた。
こまっているときにアドバイスをする。
かみばれ、どんまい、がいえた。

個別目標を板書

- ・ 本人の目標意識を高める。
- ・ 友達の目標を知ることによりよいところを認め合うなど、社会性を育む。

特別支援ブロック作成 個別目標シート



個別目標を板書

- ・本人の目標意識を高める。
- ・友達の目標を知ることによりよいところを認め合うなど、社会性を育む。

Step-up学級では、教師とともに目標の振り返り

研究仮説①

課題に対して一人一人が目標をもち、**ゴールまでの道筋をつくる**ことで、**見通しをもって学ぶ子どもを育てることが**できるだろう。

②ゴールまでの道筋をつくる 教師

単元計画

- ・身に付けさせたい力。
- ・ゴールの見える導入。
- ・主体的な学びのある展開。

子ども **学習の見通し** **交流の必要感**
何ができるようになるればよいのかわかる。

自分たちで「えらぶ、きめる」自発的な場があることで、学習参加意欲が増し、主体的に学ぶことができる。

中学年ブロック 単元を通しての学び（ロイロノート 児童作成要約文）

◆要約文（400字でい度）

グループ…諦めない心グループ

使いたい言葉（キーワード）

失敗しながら進んでいきます。

【要約文】
私たちは、宇宙に行くものを作りたいと考えていました。そんな岩谷さんに、アメリカの大学生が宇宙を撮影したということを知ってから、岩谷さんのチャレンジは、早くも2か月後に1号機が完成しました。惜しくも1号機は、100m程度まで、上がり、カメラに写っていたのはぐわんぐわんと揺れた映像だけでした。それから岩谷さんは、2号機3号機と次々完成していきました。失敗しながら進んでいきます。3号機までの実験で、できた4号機はジーピーエス端末などをつけ、出発させました。が、途中から予想以外の方向へ飛んでいき、最終的には、太平洋沖合に落ちてしまいました。4号機がどこに行ったのかもわからないので、自分には無理な挑戦だったのかもしれないと暗い気持ちになりましたが、拾ってくれた方に言われ多様な気がしたこときっかけにまた、失敗しながら進んでいきます。それから、きれいな写真を連続して撮れるカメラにかえたり、レンズが曇らない工夫をしたりと様々な試行錯誤を重ね、とうとう16号機で、宇宙を撮影することができました。

【キーワード】
諦めない心、挑戦、失敗しながら進んでいきます、多様な気、きれいな写真、試行錯誤、重ね、とうとう

へつなぎ言葉
そこで、しかし、さらに、はじめに、次に、そして、一方、ついに、こうして：
など

岩谷さんは、こどものころから、宇宙に行くものを自分で作りたいと考えていました。そんな岩谷さんに、アメリカの大学生が宇宙を撮影したということを知ってから、岩谷さんのチャレンジは、早くも2か月後に1号機が完成しました。惜しくも1号機は、100m程度まで、上がり、カメラに写っていたのはぐわんぐわんと揺れた映像だけでした。それから岩谷さんは、2号機3号機と次々完成していきました。失敗しながら進んでいきます。3号機までの実験で、できた4号機はジーピーエス端末などをつけ、出発させました。が、途中から予想以外の方向へ飛んでいき、最終的には、太平洋沖合に落ちてしまいました。4号機がどこに行ったのかもわからないので、自分には無理な挑戦だったのかもしれないと暗い気持ちになりましたが、拾ってくれた方に言われ多様な気がしたこときっかけにまた、失敗しながら進んでいきます。それから、きれいな写真を連続して撮れるカメラにかえたり、レンズが曇らない工夫をしたりと様々な試行錯誤を重ね、とうとう16号機で、宇宙を撮影することができました。

すばらしい!



2025/1/30

高学年ブロック 単元を通しての学び（ロイロノート）

海の命

作 立松和平

絵 伊勢英子

「海の命」を読み、学習の見通しをもったり、自分の目標を立てたりしよう。

単元の目標

- ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。
- ◎人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

単元のゴール

◎「太一」が周囲の人物や「瀬の主」から受けた影響をとらえ、それぞれの生き方について考え、友達と話し合う。

自分の目標

与吉じいと言った千匹のうち一匹でいいの意味を読み解きたい。

読んだ感想

なぜお父さんを殺した敵を殺さなかったのかがわかりません。

みんなで考えたいこと（読んでわからなかったこと）

なぜお父さんを殺した敵を殺さなかったのかがわからない。

なぜ与吉が千匹いるうち一匹でいいといったのかがわからない。

単元の振り返り（六時間目にしましょう。）

筆者が伝えたいことが最初はわからなかったけど、登場人物の言ったことなどから読み取ったら難しかったけど理解できました。



研究仮説②

できた！わかった！成長した！を実感する手立てを講じることで、学ぶ楽しさや喜びを実感し、自ら進んで学ぶ子どもを育てることができるだろう。

③振り返り

教師

- ・ 成長が見える単元構成
- ・ 授業展開
- ・ 振り返り

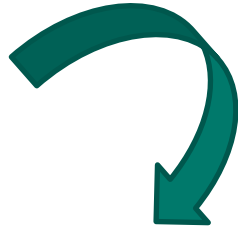
子ども **喜び、自信**

個別目標の到達度を確認し、成長した自分を実感！

「できた！わかった！成長した！」が自信につながる。

中学年ブロック「わかった!」を実感

よそう		
じしゃくにつく	じしゃくにつかない	考えた理由
	     	<p>鉄じゃないと磁石につかないと考えたから、1000円玉は鉄だと思うので、1000円玉じゃないとつかないと思った。</p>



けっか		
じしゃくについたもの	じしゃくにつかなかったもの	気づいたこと 考えたこと
	     	<p>鉄やニッケル、コバルトだけでできたものがつくとわかった。 また、1,000円札は、磁石につくことがわかった。</p>

高学年ブロック「成長した!」を実感




単元の振り返り(六時間目にしましょう。)

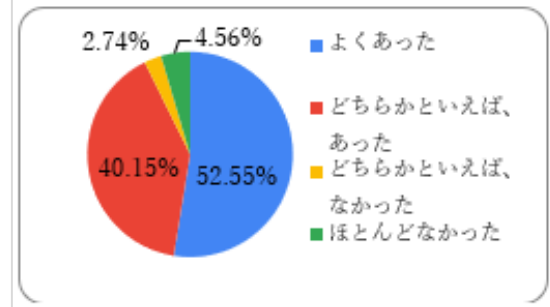
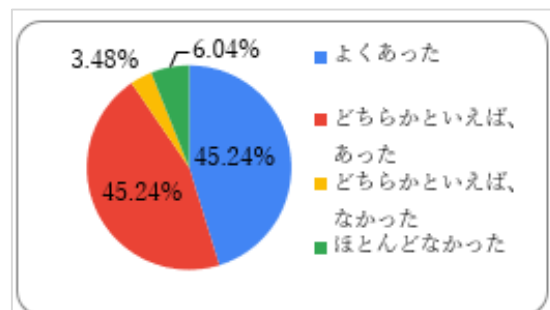
筆者が伝えたいことが最初はわからなかったけど、登場人物の言ったことなどから読み取ったら難しかったけど理解できました。

児童アンケート 学力向上コーディネーター分析より一部抜粋

グラフは全校児童の集計になります。今回、「授業で、自分が「できた」「わかった」「成長した」と思うことはありましたか。」という質問に対し、「よくあった」と回答した児童の割合は約 52.55%（前回比 +7.31%）でした。全体で見ると、「どちらかといえば、あった」「どちらかといえば、なかった」「ほとんどなかった」が減り、その分「よくあった」が増加したことがわかります。全体の半分以上の児童が「よくあった」と感じるようになっていました。

19学級中、「よくあった」と回答した割合が、前回（6月）よりも増えた学級が14学級、前回とほぼ変わらなかった学級が2学級ありました。ほとんどの学級で、子どもたちが「できた」「わかった」「成長した」と感じる機会が増えたこととなります。また、「授業で自分が「できた」「わかった」「成長した」と思ったのは、どんな場面ですか。」という質問に対しては、1～3年生が7つの場面をまんべんなく選択しているのに対し、4年生は「課題がクリアできたとき」や「テストでよい点数が取れたとき」が多く選択され、5、6年生では、この2つに加え「難しい問題に挑戦できたとき」も多く選択されていました。学年が上がるにつれて、目に見える数値や自分の中での達成感が「できた」「わかった」「成長した」を感じる上で重要になってくるようです。

今回のアンケートにより、先生方の工夫を凝らした授業実践によって、児童は「できた」「わかった」「成長した」と感じるが増えたことがわかりました。



2年間の研究を
振り返って

教師の変容

教師としての意識改革

子どもの学びを
待つ、見守る

主体性を育む
教材研究

子どもに委ねる

主体性を育む
単元計画

主体性を育む
授業展開

子どもの変容

子どもが主人公

えらぶ・きめる

積極的な
交流

主体的な学び

学習意欲 ↑
学習参加 ↑

学習・生活場面
自主性 ↑

研究の変容

全員授業公開

公開研
ブロック1本授業

通常学級・支援学級
共通仮説

授業者だけではなく、
ブロックで
つくる授業

意見を言い合える
事後研

通常学級・支援学級
互いに授業を観合える
研修計画

協働研究
全員参加

研修日、
日数削減

個人研修

チャレンジできる
研修体制

研修データ共有
(研究部クラスルーム、
ロイロ活用)

模擬授業

【子どもの課題】

自主性がぼつぼつと（現在）→自発的な取組→主体性（目指すところ？）

【教師の課題（本校の研究テーマにかかわって）】

低位の児童、知的学級の児童への委ねる場面の比率や指導
主体的な学びと指導事項の兼ね合い

【研究部の反省】

授業展開におけるパターンの提案が必要であったか。

子どもの「えらぶ・きめる」に必要な素地づくりの提案が必要であったか。

【課題（研究テーマ以外）】

探究的な学習、書く力の低下、算数の定着

【来年度の研究について】

方向性は、**主体的な学び**

教科・領域未定

公開研究会 今年度と同様

ブロック研修の充実

全員授業公開

少し思い切った研究主題に
挑戦できたのは、
豊成小の先生方が、真面目でやる気があって
新しいことに柔軟に対応でき、
協力し合える方々の集まりだからです。

研究部に力不足な点もあったと思いますが、
本当にありがとうございました。
来年度も、子どもたちが楽しく学ぶために、
わたしたち教師も楽しむことができる
実りある研修にしていましよう。